

# 創立15周年記念誌

15th Anniversary



沼津西ロータリークラブ

# 沼津西ロータリークラブ 創立15周年記念誌



## ◆国際ロータリー加盟認証状◆

創立：1991年5月30日

認証：1991年6月25日

## ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある；

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が、業務を通して会社に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか





沼津西ロータリークラブ創立10周年記念式典 2001年5月27日



沼津西ロータリークラブ創立15周年記念式典 2006年5月28日



## 開会のことば

沼津西ロータリークラブ

実行委員長 杉 山 了

本日沼津西ロータリークラブの創立15周年記念式典に当り、大変御多忙の中を沼津市長齋藤衛様、国際ロータリー第2620地区ガバナーエレクト井上雅雄様を始めとする多くの方々のご臨席を頂き、ここに記念式典が盛大に開催出来ますことは沼津西RCにとりまして此の上無い喜びでありまして、会員一同心より御礼申し上げます。

顧みますと、15年前の平成3年5月30日にスポンサークラブであります沼津北ロータリークラブの御懇切なる御指導により、26名をもって当クラブが創立されましてから本年度で満15年を迎えたのであります。その間皆様方の御指導、物心両面に渉る大変な御援助とクラブ会員のたゆまぬ努力により充実された今日の発展をみたのであります。この15年の尊い実績に学び今日から更なる新しい飛躍に向けて再出発の記念の日と致します。

創立15周年という節目を機に今後会員一同ロータリーの綱領にのっとり奉仕の理想、実現に向かって邁進する覚悟です。

先輩諸氏の温かいご支援・友情に心から厚くお礼申し上げますと共に次の周年事業に向かって更に、ロータリーの「四つのテスト」(1)真実かどうか (2)みんなに公平か (3)好意と友情を深めるか (4)みんなのためになるかどうか…をもって自戒しつつ精進していく所存ですので、今後共変わらぬご指導・御鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

おわりに本日お手伝い頂きました会員の奥様方に心よりお礼申し上げ、また、今後とも沼津西ロータリークラブの活動にご理解とご協力をお願い致しまして開会の挨拶といたします。





## 会長挨拶

沼津西ロータリークラブ

会長 後藤 昭

本日は公私共にお忙しいところお越しいただきました、RI第2620地区ガバナーエレクト井上雅雄様、沼津市長斎藤衛様を始め、多くのご来賓出席のもと、沼津西ロータリークラブ創立15周年記念式典を、このようにめでたく盛大に開催できますことを、会員一同、心より御礼申し上げます。

歴史を振り返りますと、当クラブは沼津北ロータリークラブ創立30周年記念事業の一環として、沼津北・沼津の両クラブをスポンサークラブとし、沼津北クラブの横山開一様を特別代表に、1991年5月30日に誕生致しました。創立時会員26名、現在の会員数は27名です。

ここに無事創立15周年を迎えることが出来たことは、折に付けご丁寧にご指導を下さいました沼津北ロータリークラブに深く感謝致しますと共に、和を重んじ、様々な活動を続けてきた森延敏会長・鈴木博行幹事を始めとして、歴代の会長・幹事並びに全会員の努力に心より感謝申し上げます。

さて、今年度のRIテーマは「超我の奉仕」でございます。「超我」の意味を鈴木ガバナーのお話を引用させて頂きますと、「一定限度を超えること」、「枠を考えずに精一杯の奉仕」と、述べておられます。

そこで、昨年の7月以来「ベスト・コミュニティーパートナー」をクラブテーマとして、地域の声に合った奉仕活動、地域に貢献できる奉仕活動を目指して活動をしてまいりました。今後も地域に根ざした活動を継続していく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

今後とも沼津西ロータリークラブに対し、一層の温かいご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、本日ご臨席の皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、挨拶の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

# 創立15周年 記念式典プログラム

平成18年 5月28日(日)

ブヶ東海

## ◇式典 (15:00~16:00)

	司 会	土 佐 通 孝		
1. 開 会 点 鐘	会 長	後 藤 昭		
2. 国 家 斉 唱	ソングリーダー	植 松 正		
3. ローターリーソング(奉仕の理想)	ソングリーダー	植 松 正		
4. 開 会 の こ と ば	実 行 委 員 長	杉 山 了		
5. 来 賓 紹 介	会 長	後 藤 昭		
6. 物 故 会 員 へ の 黙 禱	司 会	土 佐 通 孝		
7. 会 長 挨 拶	会 長	後 藤 昭		
8. 創 立 15 周 年 記 念 事 業 発 表	記 念 事 業 委 員 長	芹 澤 貞 治		
9. 目 録 贈 呈	実 行 委 員 長	杉 山 了		
10. 来 賓 祝 辞	RI2620地区ガバナーエレクト	井 上 雅 雄 様		
	沼 津 市 長	斎 藤 衛 様		
	米 山 記 念 館 常 務 理 事	井 上 賢 明 様		
11. 功 労 者 表 彰 (祝電披露)	会 長	後 藤 昭		
12. 開 会 の こ と ば	実 行 副 委 員 長	栗 原 侑 男		
13. 閉 会 点 鐘	会 長	後 藤 昭		

## ◇記念講演 (16:10~16:50)

	司 会	土 佐 通 孝		
講 師 紹 介		土 佐 通 孝		
演 題 「富士山の白雪—その来し方、行く末—」				
講 師	元NHK解説委員	倉 嶋 厚 様		
お 礼 の こ と ば	会 長	後 藤 昭		

## ◇祝 宴 (17:00~18:40)

	司 会	土 佐 通 孝		
開 宴 挨 拶	記 念 懇 親 委 員 長	大 村 保 二		
祝 辞	沼津ロータリークラブ会長	石 渡 保 宣 様		
	沼津北ロータリークラブ会長	羽 野 久 雄 様		
乾 杯	ガバナーノミニー	道 部 秉 様		
アトラクション紹介	記 念 懇 親 委 員 長	大 村 保 二		
も の ま ね		美 川 憲 二 様		
ロータリーソング(手に手つないで)	ソングリーダー	植 松 正		

## 祝 辞



国際ロータリー第2620地区  
2005年～2006年度ガバナー

鈴木 亀 雄

沼津西ロータリークラブ創立15周年おめでとうございます。

沼津北ロータリークラブを親クラブとして発足されてから、貴クラブは親クラブの伝統を受け継ぎつつも、独自に地域社会に貢献し、西クラブとしての若々しい特色を持つに至りました。貴クラブの日頃のご活躍に対して、2620地区ガバナーとして深甚なる敬意を表わすものであります。

新たな20周年に向かって歩み始める貴クラブであります。今年度のステンハマーRI会長のテーマから、来る井上年度のボイド会長のテーマは、貴クラブにとって、実に印象的なテーマであると思います。

ロータリーの本質は、個々人の奉仕がもととありますが、クラブとしてまとまって活動することも大切となりました。

歴代の会長様方のリードのもと貴クラブの地域社会における存在感は非常に大きなものであります。この難しい社会情勢の中で、ロータリーの理念は、益々大切と考えますと、貴クラブの活動は、沼津地域ばかりでなく、静岡県、否地区全体にとって大きな役割を持つこととなります。

どうぞ、日常活動に“ロータリー ここにあり”を示していただき、更なる発展を祈ります。意を尽くしませんがお挨拶に代えさせていただきます



国際ロータリー第2620地区  
2005年～2006年度ガバナーエレクト

井 上 雅 雄

創立15周年記念おめでとうございます。貴クラブは、1991年5月30日に創立、1991年6月25日にRIは加盟を承認いたしました。その時の当地区のガバナーは、上原勇七さんで、クラブ数は76でした。ロータリー活動が活発に展開され、毎年度クラブの拡大が続いておりました。会員数も着実に増強され、1年に200名もの会員が入会されました。地区番号が262から2620に変わった年度でもあり、静岡・山梨両県でロータリー運動が非常に活発に展開されていた時でした。

今日の記念式典には、鈴木ガバナーから特別にお許しをいただいて出席させていただきました



た。それも2000～2001年度渡邊守人ガバナーの時、地区幹事として創立10周年記念式典に出席した縁でしょう。そして今回は、ガバナーエレクトとしてお祝いを申しあげる機会を賜わり感激をいたしております。また10周年の時の会長・名古屋良輔さんが、来年度はガバナー補佐としてご活躍いただくという、私にとりまして沼津西ロータリークラブはすばらしい縁をもっているところです。

ここ沼津の地は、日本のロータリー運動の父ともいえる、米山梅吉翁生誕の地、長泉町はすぐ近くです。そこにある米山梅吉記念館は、沼津在住のロータリアンのボランティア活動で護られています。そして沼津西ロータリークラブの会員は、地域社会に対する奉仕を米山梅吉翁から学び、実践されております。私は2006～2007年度ガバナーの理念として「職業奉仕と親睦」を掲げました。そして、「世界的規模で考え、地域で行動する」それがロータリーの活動です。沼津西ロータリークラブが、20周年、25周年に向かって、着実に、力強く、ここ沼津の地で活躍されることを期待申し上げ祝辞といたします。おめでとうございます。



沼津市長 齋藤 衛

沼津西ロータリークラブ創立15周年、誠におめでとうございます。

貴クラブは、活動の原点であります「超我の奉仕」の精神のもと、だれもが笑顔のあふれる生き生きとした社会生活を営めるよう、青少年の健全育成事業や環境保全活動をはじめ、幅広い分野に意欲的に取り組まれてこられました。

市政を預かる者として、誠に心強い限りであり、心から感謝を申し上げます。

さて、21世紀初頭のまちづくりの指針である第3次沼津市総合計画は、計画期間の半ばにさしかかり、本年度は後期5ヵ年のスタートの年であります。

後期の5ヵ年は、市民本位のまちづくりと、県東部地域の広域都心にふさわしいまちづくりを主眼に、主要な課題に対し重点的に取り組みを進めていくことといたしました。

最優先の課題として、市民の安全の確保と、安心して子育てができる環境の整備の一環である「学校・保育所の耐震化」を進めてまいります。

また、これまで本市の発展の原動力となってきました交流人口の拡大を図るため、「沼津駅周辺の総合整備」の着実な推進とともに、約60kmの海岸線を有する本市の特徴を生かした「海辺のにぎわいづくり」に取り組むなど、人と地域のにぎわいと活力づくりを進めてまいります。

これら3つの重点施策を踏まえ、引き続き、福祉、教育、環境保全などの各分野のバランスを保ちながら、市民の皆さんと手を携え、今なすべき課題に的確に対応するまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

どうか皆様方には、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、沼津西ロータリークラブの益々の発展とご活躍に期待申し上げ、お祝いの言葉といたします。



米 山 記 念 館  
理事長 内 藤 成 雄

沼津西R. C創立15周年おめでとうございます。営々と発展され、今日を迎えられましたこと、心よりお喜びを申し上げます。

私は、1994～95年度に第2620地区のガバナーをいたしました。公式訪問は、確か田口さんが会長の時、出前弁当を皆で楽しく頂いた覚えがあります。沼津西というより原のクラブという感じで、素朴で初々しいクラブだった記憶があります。

それから、12年、貴クラブは、私にとって非常に身近で大切なクラブとして今に至っております。と言いますのは、私は、縁あって米山記念館の理事長を拝命し、そのため、記念館近隣の多くのクラブと共に、貴クラブにも多大の御奉仕を頂き乍ら、運営を続けているからです。

特に、貴クラブからは、鈴木良則さんが、地区の米山記念館委員会の副委員長を担当して下さっており、更に運営委員のお二人と合わせて、遠隔地に住む私には、頼りにするかかせないクラブだからです。

申すまでもなく、米山記念館は米山翁を通して、ロータリー精神を学ぶ全国唯一の学習研修施設でこれを地区内にもつことは、富士山と共に誇りであり、地区の育成すべき最も重要な施設として、認識されております。

本日は、その意を体され、記念館に対して特別の多額の御寄付を賜り、有難く厚く御礼申し上げますと共に大きく元気づけられております。

かく申し乍ら、私は当日、富士吉田西RC20周年出席と重なり、どうしても出席することが出来ません事をお詫び致します。代わりに井口賢明専務理事が、代行として出席致すことになっております。何卒御了解いただき、今後も記念館に対して、格別の御協力、御援助をお願い申し上げます。

本日の、15周年重ねてお祝い申し上げます。



米 山 記 念 館  
常務理事 井 口 賢 明

創立15周年おめでとうございます。

また、只今は、米山梅吉記念館のために貴重なご芳志をいただきありがとうございました。記念館の為に役立たせていただきます。

記念館は、沼津北クラブの松井謙一氏を初代理事長として、昭和44年に創立されました。今年で37年になります。その間、当地区をはじめロータリークラブ、その会員の皆様のご支援に

より、運営されてきました。

ご承知のように、皆様の援助により、8年前の平成10年4月、立派な新館ができました。最近では、ここを訪れる人も年々増加してきました。また、次年度地区の方針として、ロータリーの新しい会員は、全員が記念館を訪問するというようなことも打ち出されています。

記念館としては、皆様のこのような熱い思いに応えなければなりません。これからの仕事は、いかにその内容を充実させるかだと考えています。米山のことは、どこよりも詳しいということは当然として、夢みたいなことです。米山のことなら何でもわかるというようなことを目指したいと思っています。

また、記念館の目的の一つでもありますロータリー関係の資料を整備するように心がけます。ロータリー文庫との兼合いもありますが、少なくとも、当地区関係のものについては、ロータリー文庫より充実している、あるいは利用しやすいものにしたいと思っています。

いずれにしましても、記念館は、米山の顕彰のため、一層の努力をしなければなりません。これからも、皆様のご支援をお願いいたします。

## 来賓ならびに招待者ご芳名

(敬称略)

### ◇来 賓


RI第2620地区ガバナー	鈴木 亀 雄
RI第2620地区幹事	井 上 龍 朗
RI第2620地区ガバナー第3分区ガバナー補佐	木 村 憲 司
沼 津 市 長	斎 藤 衛
沼津西ロータリークラブ創立時ガバナー	上 原 勇 七
米山記念館常務理事	井 口 賢 明
RI第2620地区ガバナーエレクト	井 上 雅 雄
RI第2620地区ガバナーノミニ	道 部 乗
沼津西ロータリー創立時沼津北ロータリークラブ会長	岩 崎 逸 三

### ◇招 待 者

沼津ロータリークラブ会長	石 渡 保 宣
沼津ロータリークラブ幹事	山 口 和 一
沼津北ロータリークラブ会長	羽 野 久 雄
沼津北ロータリークラブ幹事	小 栗 徹
沼津柿田川ロータリークラブ会長	野 口 郁 夫
沼津柿田川ロータリークラブ幹事	前 田 守
沼津市立原中学校 校長	尾 崎 庸 夫
沼津市立愛鷹中学校 校長	渥 美 富 夫
沼津市立片浜中学校 校長	小 田 部 信 行
沼津市立浮島中学校 校長	西 川 哲 徹
沼津市立今沢中学校 校長	芹 澤



# 式典



SERVICE Above Self

## 超我の奉仕

2006～2006年度沼津ロータリーのテーマ

奉仕の理想  
奉仕の理想に集り、友よ  
御田に捧げ、我々の生業  
望むは世々の久遠の平和  
めぐらむ車いば、静し  
永久に榮えよ  
我等のロータリー

### 沼津西ロータリークラブ創立15周年記念式典

#### 式次第

開会 土佐 通孝 会長

- 一、開会点鐘 会長
- 一、国歌斉唱 ソングリーダー
- 一、「ロータリー」奉仕の理想 ソングリーダー
- 一、開会のことば 実行委員長
- 一、来賓紹介 会長
- 一、抽籤会員への黙祷 会長
- 一、会長挨拶 会長
- 一、創立15周年記念事業発表 記念事業委員長
- 一、目録贈呈 実行委員長
- 一、来賓祝辞 沼津市長、長山記念館常務理事 会長
- 一、功労会員表彰 沼津市長
- 一、祝電披露 実行委員長
- 一、閉会のことば 会長
- 一、閉会点鐘 会長

記念講演 題  
演題「富士の白雪―その来し方、行く末―」  
実行委員長 丸山エッセイ 倉嶋 厚氏  
一、お礼のことば 会長





挨拶をする杉山了実行委員長



司会の土佐通孝君



学校関係者の皆様



# 記念事業報告

## タリークラブ創立15周年記念



記念事業を発表する芹澤貞治記念事業委員長

## 沼津西ロータリークラブ創立15周年記



米山記念館 井口賢明常務理事に目録を寄贈



沼津西ロータリークラブ  
設立十五周年記念事業

一、米山記念館に金一封を寄贈  
一、区域内の中学校

- ・原 中学校
- ・浮島中学校
- ・片浜中学校
- ・愛鷹中学校
- ・今沢中学校

以上五校に創立六十周年、  
又、沼津市の推進する言語  
特区を支援して、教材各々  
一組を贈呈する。



## 記念講演



テーマ：「富士の白雪—その来し方、行く末—」

講師 理学博士

倉嶋

厚（元NHK解説委員）

沼津西ロータリークラブ創立15周年記念例会式にお招きいただき、地域社会の指導的な方々を前にお話することを、たいへん光栄に存じております。

私は約50年、気象予報官、気象台長、NHK解説委員などを務め、気象一筋の仕事をしてまいり、今年満82歳になりました。本日は、私の人生80年で感じたことのいくつかを、お話ししたいと思います。その中で一つでも二つでも、皆様がお仕事をしていく上で、また自然を見つめる上で、お役に立つことがあれば、と願っております。

私たちが天気と呼んでいる現象の多くは、水が大気中を風に流されながら、透明な気体としての水蒸気、目に見える液体としての水、固体としての氷という三つの姿に絶えず入れ替わることによって起こっています。水は天気のマテリアル、風はその運搬者、あるいは水は俳優、風は演出家といえます。そして、この「大気と水の大循環」を駆動しているのは太陽です。太陽は自然現象の総監督です。

地球表面には、ならずと1年間に約1,000mmの降水（雨や雪）があります。ところが、いま、大気中の水蒸気が全部雨となって降ったとしても、地球表面にならずと、僅か25mmにしかなりません。ということは、大気中の水蒸気は1年間に40回（1,000mm÷25mm）も入れ替わっていることを意味します。その絶え間ない水蒸気の大循環が、人間を含む地球上の生物に対して「空の水道」「熱の銀行」「温室作用」という、なくてはならない重要な役割を果たしているのです。

ところで雨と雪とでは暮らしに対する影響は大違いです。雨は直ぐに流通しますが、雪は、水経済（水の大循環）の中で流通しない「たんす貯金」となって、一箇所に留まってしまいます。富士の白雪も季節的な「たんす貯金」です。氷河時代は陸上に「たんす貯金」の氷がやたらに溜まった時代です。その分、海の水が少なくなり海岸線が沖に退き（海退）、日本列島と大陸が陸続きになったところがありました。一方、温暖化時代は「たんす貯金」の氷が溶け出して海に注いだため、海面が上昇し、海岸線が陸地に進んできました（海進）。そのような「海進、海退」は現在も起こっているのです。

我が地球において水が気体、液体、固体の三つの姿を持っていることにより、多くの生命が支えられております。地球がもう少し太陽に近ければ水は水蒸気だけになり灼熱地獄となり、遠ければ氷に覆われた「白い地球」になってしまうでしょう。地球は誠に「幸運な星」といえます。その星の上に、いま全珠的な環境問題が起こっています。

この問題を考える場合に必要なキーワードとして循環、共生、参加、公平な役割分担、国際的な取り組みが挙げられております。

話はかわりますが「不二ひとつづみ残して若葉かな」という蕪村の句があります。平野が



初夏の暖かさに向かっているのに、山頂の雪はますます白い輝きを増しなす。それを見て皆様のお子さんやお孫さんが「太陽に近くなるのに、富士山の頂上は何故寒いのか」と質問したら、なんとお答えになられますか。この場合、お子さん、お孫さんは、熱源に近ければ暑く、遠ければ寒いという、正しい「物差し」(考え方)を持っています。「君の物差しは、いまの問題にはあてはめてはいけない」ということを、わかりやすく説得しなければなりません。皆様は、どのように説得なさるでしょうか。

地域の問題でも国際問題でも、関係者が主張する「ものさし」は実にさまざまです。話し合いの時間の大部分は、その問題の本質を論じるのにふさわしい「ものさし」についての合意に使われることになるでしょう。私たちは、今後、ますます「ものさし」の違う人と、粘り強く話し合わなければならない局面に遭遇するだろうと思います。

# 祝 宴



乾杯の音頭(道部乗ガバナーノミニー)



ものまねタレント 美川憲二



美川憲三(?)に扮する大村保二記念懇親委員長



右側より 井上ガバナーエレクト、名古屋輔君、  
道部ガバナーノミニー



## 祝 宴 祝 辞



沼津ロータリークラブ

会 長 石 渡 保 宜

本日は、沼津西ロータリークラブの創立15周年、誠にめでたうございます。心よりお祝い申し上げます。このような晴れがましい席で御祝辞を述べさせていただくことを非常に光栄に思っております。このような立派な式典、記念講演、祝宴を企画実行された後藤会長、杉山実行委員長、会員の皆様の御苦勞、御尽力に敬意を表するものであります。

沼津西ロータリークラブは、1991年、沼津ロータリークラブと沼津北ロータリークラブがスポンサークラブとなって設立されたわけですが、特別代表の選任、キーマンの派遣、設立の準備等全て沼津北クラブが単独で協力され、事実上スポンサークラブは沼津北クラブ単独であったと記憶しております。

沼津西ロータリークラブは創立以来15年に亘り、地域住民に対して行ってきた社会奉仕、職業奉仕ははかりしれないものがあります。ロータリアン一人一人も地域住民であり、地域発展と活性化の為に、行政と共に何の見返りも求めず、奉仕の理想を追求されてきたことは素晴らしいことであると考えております。

私は、ロータリークラブは、世界で最も優れた奉仕団体であると思っております。その活動は地域に対する積極的なアプローチはもとより、グローバルな視野に立ってポリオの撲滅、自然環境の保護、水の保全、識字率の向上等全世界に向けて展開しており、自分がその一員として参加していることを大変名誉なことと考えております。

今後、沼津四クラブが互いに手を携え、協力しあって、地域の為、日本の為、世界の為に、平和と明るい未来を築くべく奉仕の理想を追求できたら本当に素晴らしいことと思います。

最後になりましたが、沼津西ロータリークラブの益々の御繁榮と、会員の皆様、御家族の皆様、本日御臨席の皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



沼津北ロータリークラブ

会 長 羽 野 久 雄

クラブの皆さん創立15周年おめでたう御座います。日頃は後藤会長のもとロータリーの奉仕の理想を信条に地域への奉仕「ベストコミュニティパートナー」をクラブのテーマに掲げ、地域に密着の奉仕を続け地元の方々から熱い信頼を得ていると聞いております。



会員も26名と小世帯でありながら皆さん団結して立派に地域に貢献なさっておられる事は、他のクラブの鑑とする所であります。

私共、スポンサークラブとして日頃、何のサポートも出来ておりませんが、今後はお互いの情報を交換しながら絆を強めていく事が必要ではないかと、考えております。西クラブの皆さん、今後も20年、30年と今まで以上にロータリーの「奉仕の理想」を強力に進め親クラブを凌ぐクラブに発展して戴きたいと思っております。簡単ですが、お祝いの言葉とさせていただきます。沼津西ロータリークラブ創立15周年、誠におめでとうございます。



### 沼津北ロータリークラブ

### 岩崎逸三

本日は創立15周年、誠におめでとうございます。

ちょうど沼津西RCが創立されました時に、私は沼津北RCの会長を仰せつかっておりました。その前の年のガバナーであり、今は亡くなられた静岡新聞の大石益光さんが前年の11月、沼津北RCに公式訪問にお越しになった時、三つしかない沼津のロータリークラブをもう一つ拡大して欲しい、と述べられたのです。クラブの皆さんにもご相談したのですが、半年ではとても無理だ、という声が大勢でした。しかし、今は無き特別代表の横山開一さん、そして沼津西RC初代会長の森延敏さんお二人にお願いして、何とか新しいクラブを作っていただけないか、とお願いしたのです。鈴木博行さんには全体的な面をカバーしてもらいました。そうこうしている間にも、大石さんから何とか私の年度内に設立してくれないかという依頼があり、11月からスタートし5月30日の創立に向けて走り始めたわけです。沼津西RCの創立は、沼津北RC創立30周年記念に大きな花を添えていただけたと思っています。そんな事情からも、私はずっと沼津西RCには関心と愛着を持ち続けて参りました。

そんな私が沼津西RCをどう思っているかと申しますと、沼津西RCは少人数で最大限の奉仕活動をしているクラブではないか、と考えているのです。2、3例を挙げますと、何年前でしょうか、鈴木良則さんが分区代理をお引き受けになりました。その素晴らしさを今でも私は心の中で賞賛しているのです。そして沼津西RCは、全国に先駆けて週報をパソコンで作成し、ペーパーレスを成し遂げられました。また毎年地方新聞に掲載されていますが、沼川に鯉の放流を続けておられます。そうした地域に密着した社会奉仕というものを継続されていることに、心からの敬意を感じております。例会にメーキャップにお邪魔すると、和気藹々と例会をなさっておられる。いつも感心しております。

沼津西RCがこれからますます発展されますことを、そして、ご臨席の皆様のご健勝を心から祈念申し上げまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

## 会 長 回 想



2001～2002年度

パスト会長 大 村 保 二

沼津西RC創立15周年にあたり一言お祝いの言葉を申し上げます。

私は入会させていただきまして10年が経過いたしました。当時は会場が原町商工会の二階で会場の準備やら食事の準備など役目が多く大変でした。今は会場がブケ東海に移りいろいろな面で負担が軽くなってきました。15年といいますと、人間でいえば少年期でこれから更なる成長をしていかなければいけない年齢かもしれません。当クラブは会員数（現27名）も比較的少なく、その分会員同士のコミュニケーションがとれ友好的に運営されているのがよいと思います。

これからも新たな会員を増強し時代の変化に対応したロータリークラブになっていければと念願しております。まだまだロータリーのことで分からない事、勉強不足のことが多いのですが、職業でも社会生活においても常にロータリーの綱領や、四つのテストを思い浮かべあらゆる面で取り入れていければと思います。

これまでのロータリー活動においてさまざまなことが思い出されてきます。途中挫折した時期もありました。そのつど励ましていただいた仲間の友情に感謝し、これからもあまり気を張らず自分でできる範囲で続けていければと思っています。その間退会されたOBの方々も大勢この15周年記念事業に参加していただき、ロータリーを離れてもその友情は変わらないことを知り、大変うれしく思いました。諸先輩方の手がけたご恩に報いるためにも、会員一丸となって邁進しクラブの繁栄と社会の奉仕を押し進めなければなりません。クラブの一員としてがんばっていこうと思っています。

15周年事業が終わりますと、次年度当クラブがホストクラブとなって、静岡第三分区のIMがおこなわれます。実行委員長という大役を仰せつかり、大変恐縮していますとともに責任の重さを感じています。会員の皆様と共に協力しあい、またご意見やお知恵を拝借して進めてまいります。

15年がひとつの節目となって、さらなる20年、30年へ向かって発展することを願っております。



2002～2003年度

パスト会長 山本 浄 司

### 「15年を顧みて」

1992年4月に入会させて頂き、早いもので15年目に入ります、46歳で入会した時の社会情勢はバブル真っ盛りから少し下り坂に向かい始め、日本中がマネーゲームに浮かれ、土地投機に走った、つけが回って来、リストラが始まり不景気が始まった頃でした、15年経った今も不景気から脱出していません。

このバブル崩壊が日本社会にもたらした事は計り知れない物が有ります、政治が変わらなければ成らない事、経済社会が変わらなければ成らない事、家庭が変わらなければ成らない事、個人個人が変わらなければ成らない事、反面日本の永い時を経て出来上がった良い文化や伝統、制度は壊しては成らない事。

この様に政治、経済、家庭、個人、等あらゆる分野でこれからの有り様を模索してうごめいている大きな曲がり角に差し掛かっているように思われます。

政治の事では、国際貢献の美名の下、太平洋戦争で何百万の日本人が亡くなり、数限りない悲劇や不幸を作り出した教訓から、二度と戦争をしない為の安全装置や仕組みを、次々に無くしてしまっています。これでは近い将来、又戦争に巻き込まれていてしまいます。子や孫が又戦争に行き、亡くなり、家族や身近な人たちが同じ悲劇や不幸の数々を味わう事を想像すると、断じて安全装置を外しては成らないと思います。

経済犯罪は、談合事件から始まり、建築設計偽造、ライブドア、村上ファンド、次から次と切りが無い。これ等は皆、根っこが同じ問題の様に思えます。金儲けの為ならルール違反は大した問題ではない、そんな考えが社会にはびこっています。この事を考える時、ロータリーの価値を改めて痛感します。

高崎ガバナー（当時）が「一生懸命でなくて良い、真面目にやれよ」の標語を引用され、「一生懸命に成って華々しい成果を上げる事より、真面目にやれよ、はルールを守って活動する事の方が大事だよ」と言われた。高橋パストガバナーが言われる様に「ささやかな事で良いのだよ、その中に心を込める事が大切だよ」と卓話の中で話されました。

先輩ロータリアンも「穏やかな事で良い、クラブの皆さんの為に、四つのテスト、と言う心を込めて活動する事が大事だよ」と話されました。

これはクラブ奉仕を語られたのだと思います。単位クラブの事業は成果を求めるより、クラブ奉仕の活動を通じ、道德、倫理、品位、と言った人間性を身に付け、育てられたロータリアンがその個人生活の中で職業を通して職業奉仕、社会的活動を通じ社会奉仕、国際的活動を通じ国際奉仕、そんな社会貢献の出来る人間に成ろうよ、とロータリーに教えられました。

ロータリーに入会させていただいて以来、貴重な体験や教訓を沢山いただき、私には他に替えることの出来ない宝物に成りました。今後の私の人生の道標に成る事と思います。これも、友、在ってのもの、人の和、在ってのもの、皆様にはロータリーの真髓を味わって欲しいと願うと共に、15年間お付き合い下さって心から感謝申し上げます。



2003～2004年度

パスト会長 芹澤 貞治

会長当時の思い出を書いてくれとの事です。

当時を思い出したいと思います。RI会長はロータリー初のアフリカより選出された、ジョナサン・B・マジアベ氏であり、テーマは“手を貸そう”とロータリー活動全てにおいての基本的姿勢を指され、ロータリー誕生1世紀の最後の年度を飾るにふさわしいテーマをかかげてくれました。

さて、多くの思い出がありますが、一番は坂部幹事の熱意と、会員全員の協力でできましたクラブ細則、並びにクラブ運営規定の見直しがあります。約一年間の長期事業でした。ロータリーそして、クラブも年々変化します。その変化と共に、細則、運営規定はこれからも定期的に見直される事と思います。しかし、いざ見直しとなると大きな労力が必要である事を感じました。

大阪国際大会に出席できた事も良い思い出です。自分自身は2度目の国際大会出席ですが、今回は会長としての出席であり、RI会長を身近に接し、その心の広さに感激した事は一生の思い出になりました。毎回の例会ですが、会員皆様の協力によりスムーズに行われました。心に残る卓話を各委員長の努力で行ってもらえたのも思い出です。ガバナー公式訪問のホストを引き受け、大変緊張したのも今思えば良い思い出の一つでした。第一回例会出席14名、第二回例会出席18名、第三回例会出席16名と、当初は出席率が悪く、会の運営に不安を感じましたが、終わってみれば年間出席率は90%を超えていました。長期欠席者がいた事を思えばまずまずと思います。分区内では例会年間出席率1番、そして色々なロータリーの出席率も1番と会員の皆様の協力を感謝した一年間でした。

坂部幹事を始め、会員の皆様にささえられた微力な会長でありましたが、長い様で短かった一年間でした。思い出せば他にも色々ありますが、会長として色々な人達と出会い、知り合えた事。これが一番の宝として一生残る事と思います。

最後に、会員全員が西クラブに入会して良かったと思うクラブ運営が出来る様、協力させて頂きたいと思います。と共に、これからも沼津西ロータリークラブがますます発展する事を祈念致します。





2004～2005年度

パスト会長 森 茂 美

04～05年度第14代会長として、この年度を振り返ってみたいと思います。

05年2月23日はロータリー100周年記念日でした。この記念すべき佳節の年に会長を任せられたことは光栄でありました。クラブの100周年記念行事として、9名で韓国メーキャップ旅行を行いました。このメーキャップ旅行報告の会長挨拶が「ロータリーの友」のホームページに載り、全国のロータリアンに読まれたことは、うれしく誇りに思っております。ソウルの漢陽ロータリークラブの例会に出席したのですが、日本の東京クラブに匹敵するクラブで50年の歴史を持ち、韓国で一番古いクラブです。180名の会員を有する大きなクラブで、多くの会員が日本語を話し、大歓迎を受けました。生涯忘れることの出来ないメーキャップ旅行でした。

100周年記念行事として沼津北クラブと一緒に05年2月23日に100周年記念合同例会を東急ホテルで行いました。この合同例会は夫人同伴で、100名を超える人数で、思い出にのこる例会でした。大変楽しく、オープニングコンサートが特に記憶に残っております。その時に行った私の会長挨拶は、今でも思い浮かびます。

その他、沼津柿田川クラブとの合同例会も100周年記念として拡大して行いました。地区大会、IMも100周年にふさわしい内容でした。クラブの行事では、夜間の花見例会、年末のクリスマス例会、千本松原の清掃、沼川の鯉の放流等、多くの事業を行い、各委員会の委員長さんにはお世話になりました。

会長の役目として、例会での会長挨拶があります。私はクラブテーマを「魅力あるロータリアンになろう」としました。そして100周年ですので、この1世紀の歴史を中心にロータリーの話をしました。その準備の為、勉強になりました。振り返ってみて、充実した一年間でした。

一年間、幹事として私を支えて下さった本村君には感謝しております。



2005～2006年度

会 長 後 藤 昭

私が入会させて頂いたのは別宮年度でした。別宮さんから3年の間、入会を勧められておりましたが、正直な話、ロータリーの名前は聞いたことはありましたが、自分が入会して何ができるのか疑問がありました。毎年、別宮さんからお聞きしている間に自分としてぼんやりと、出来ることあるように感じ、入会をさせて頂きました。

3ヶ月が過ぎようとした例会後に、金元さんより「後藤君は少し不勉強の様だから、この本を読みなさい。」と、渡された本が「マイフレンド」でした。今から振り返ると退会を迷ってい

た時期であり、この本と金元さんからの声を頂き、退会を思いとどまり今日まで来ました。

原町商工会議所二階の例会場は、全て自分たちで飾り、支度をしました。数年後にブケ東海に例会場は移り、飾り等の支度は無くなりましたが、今では手の空いた人たちで声を掛け合いながらの会場作りが懐かしくも感じます。例会場では色々な人たちの出会いと別れがありました。今でも自分に足りないことは多々ありますが、例会に出席する度に足りなさを補う知恵をたくさん周りから頂きました。

気が付いてみると会長職に指名され、鈴木泰次さんに快く幹事をお引き受けして頂きましたが、自分の心の中は戸惑いの日々が続く連続の内に後藤年度が始まりました。皆様方のご支援は温かく、心の支えになりました。年度内の最大の催しが15周年事業でした。杉山周年事業委員長の下、全員参加のリハーサルも終わり、当日を滞りなく終えることが出来ました。年度最大の事業が成功を納められたことと、年度内に出席率100%を6回も数えさせて頂いたことは、沼津西ロータリークラブの伝統ともいえる歴代会長の和の精神が遺憾なく発揮できたことと思います。

これからも沼津西RCと共に歩んで行けることを念じます。

## 15周年によせて



初代(1991年～1992年度)

会 長 森 延 敏

創立15周年の記念式典、例会も多くの来賓をお迎えして沼津北、沼津、両スポンサークラブ、沼津柿田川クラブのご支援と市内会員皆様の限りない協力のお陰にて、大きな喜びを共有する事が出来、ご同慶に耐えられません。当クラブを退会された十数名の懐かしい顔も元気に出席され旧交を深める事が出来、大変うれしく思います。多くの祝辞の中、設立時の北クラブ会長岩崎逸三様は当時の状況や苦勞した内輪話を、昨日の事のように話され、「思い出」ひとしおでした。道部 乗先生は、始めは2、3人の小さなロータリーソングの声も段々大きく成って行く喜びを楽しそうに話されました。タクトを通し、卓話を通じて毎週木曜日一年間休まずご指導戴きロータリーを教わりました。改めて育ての親に感謝申し上げます。

この度、ガバナーノミニの大役を受けました。我がクラブの名古良輔君が率先してガバナー補佐をお受けになりました。恩返しが出来て本当に良かったです。

孔子、孟子は「性善説」仁義礼智信を教えました。荀子は「善は偽者」と唱えました。両者、人の生き方を「点」でとらえています。ロータリーは点を集めて「面」で行動し、三大奉仕を唱え、職業奉仕を大事にしています。

孔子は「君子は財を愛す、これを取るに道あり」と道とは慈悲であり「情」であります。今、道が大荒れに荒れています。ロータリーの「友情」こそ、出発の原点、シカゴスピリットだと思います。

次年度から20周年に向かって大事な五年間、栗原侑男会長共々全員心を込めて頑張りましょう。来賓の方々から、小さいが良いクラブですネ、の言葉が有りました。これも会員ご婦人の理解と協力のお陰です。

終わりに今は亡き大石益光ガバナー、横山開一特別代表様のご指導により誕生した西クラブの成長を報告し、感謝の気持ちとします。



初代(1991年～1992年度)幹事

第5代会長 鈴木博行

### 【ロータリーとの出会い】

1984年5月、森延敏先輩の紹介で沼津北クラブに入会し、今年で22年になります。その間・

多くのロータリアンと出会い・友情を重ね有意義な人生を歩んで参りました。

北クラブに入会して5年目、1989—90年度北クラブ井口会長の下で創立30代目の幹事役を勤めさせて頂きました。この1年間は私自身にとってロータリーは素晴らしい研修の機会でありました。この年度のRIのターゲットは「ロータリーを楽しもう」でした。私自身にとってはその実感は半減し、クラブの円滑な運営と地区から与えられた必要な情報を正確に、かつ敏速に伝えようか苦心しておりました。その時、歴史ある北クラブには井口会長を始めロータリー活動にカウンセラー的存在の会員が多く、温かい励ましの言葉や、適切なアドバイスを与えて下さり勇気付けてくれました。これがロータリーの「真の友情」であると今でも実感しております。

### 【沼津西クラブの創立】

1990年5月、大石ガバナーより沼津地区に新たにロータリークラブを作る様に、要請があり、沼津・沼津北の両会長の話し合いの結果、沼津北クラブの30周年記念行事の一環として、沼津西部地区に新クラブの設立が同意され、特別代表に横山開一氏が推薦され設立準備会がされたのです。

1991年3月、森延敏さんが会長に私が幹事に指名されクラブ創立の準備に入りました。1991年4月、上原ガバナーノミニーの出席を得て例会日・会場・クラブ細則の確認が行われた。その中で第3例会日夜間例会としたのは第3分区では初めてで会員相互の懇親を図る意味で大変有意義だったと思います。

1991年5月30日、創立総会が大石ガバナー上原勇七ガバナーノミニー、横山開一特別代表、岩崎逸三北クラブ会長出席を得て行われ、沼津西ロータリークラブが創立されました。

### 【静岡第3分区会長・幹事会】

1993年～1994年度、静岡第3分区代理（現ガバナー補佐役）に沼津北クラブ横山開一氏が就任され、事務局に私が指名され一年間分区代理と共に会長・幹事会に出席させて頂き多くのロータリアンと知り合い「友情の輪」を広げることが出来大変有意義な一年間でした。

### 【クラブ創立時・幹事】

幹事としては独自の抱負などあるはずもなく、専ら森会長を補佐し、裏方に徹し、ひたすら森会長の「抱負の実現」に努めると同時に、各委員会がスムーズに運営されるように必要な情報をいかに正確に、敏速に提供するかに気を配り、円滑なクラブ運営を目指しておりました。

クラブ協議会・地区大会、IM、国際大会、ライラ等の皆様方へのお願い、例会記録、会合の記録、諸会合の通知の作成など幹事一人ではすべて遂行出来ず、北クラブ事務局の久保田さんに大変お世話になり今でも感謝しております。

### 【第5代会長時代（1995年～1996年度）】

私自身・自分の職務に関しては、気持ちのずるさからか、知っている事には手を抜き、知らない事は芹沢幹事と事務局任せの出来の悪い会長で、お二人には大変ご迷惑をお掛けし今でも自責の念に堪えられません。この様な私が会長職を全う出来たのも皆様方の絶大なるご支援と、芹沢幹事の緻密で、きめ細かな配慮はクラブ内の結束を強め、幹事としての責務を立派にこなし、安心してクラブ運営が出来たお蔭だと感謝しております。

私の会長時代の最大の行事は、創立5周年記念式典でした。鈴木良則実行委員長を中心に全員が団結し、素晴らしい出来栄えの記念式典だったと思います。ご来賓、ご招待者の皆様方が、



西クラブの5年間の成長を心から喜んで下さいました。これは歴代会長・幹事のたゆまざる努力と、全会員がロータリー精神を忘れることなく、思いやりの精神で行動した結果がここに実を結んだものと思っております。

### 【創立15周年を迎えて】

私たち西クラブは分区内で一番新しく規模の小さいクラブです。しかし規模は小さくても会員の団結力は決して他のクラブに劣らないと自負しております。

「鯉の放流」「遊歩道の清掃」等の自然環境に配慮した奉仕作業は他のクラブに自慢できる事業だと思います。本年度の15周年記念を一つの節目に更なる努力を重ね、全会員が団結力を発揮して、次年度のIMホストに全力を注いでいきたいと思っております。



第2代(1992年～1993年度)

会長 鈴木良則

幹事：浅井一省

RI会長：クリフ・ダクターマン テーマ「まことの幸福は人助けから」

RI2620地区ガバナー：乾昇 テーマ「恕」

クラブのテーマ 1. 真のロータリアン作り 2. 会員増強 10% 3. 地域環境保全 植樹  
創立15周年記念、誠におめでとう御座います。

チャーターメンバーとして入会させて頂き、ここに創立15周年を迎え感無量です。記念誌の原稿を書くに当たり、私のロータリー人生を振り返るチャンスを頂き感謝します。創立、第2年度があと1週間で始まる時、当クラブで突発的なドラマがありました。

その1. 年度末、6月23日、次年度、会長幹事会が富士で開催され、次期会長千葉忠男さん、幹事の私が出席し、帰りに千葉さんが東京本社に転勤になるが例会日には出席出来ると言うことを話されました。しかし、25日の例会日になって退会されることになったのです。次年度の第1例会まで1週間、この急場をどのようにするのか、次期幹事とはいえ、アクシデントに即応出来る経験もなく惑うばかりでしたが、誕生1年目の当クラブであれば当然、森会長が続投されるだろうと思っていました。それは、会長が中途退任する場合は直前会長が務めることになっているからです。ところがである。何と、その重責を次期幹事を務めるはずの私が仰せつかることになったのです。

本来なら、ノーと言いたいところではありますが、森会長の例会での挨拶には時折、超私の奉仕を理想とするロータリーには、余程のことがない限りノーと言う言葉はない、と教育されていたからです。最終例会で次年度会長に正式に指名され、戸惑いと不安の最中であるが急遽、幹事を浅井さんをお願いしご了解を貰い、会長挨拶までの1週間、クラブ発足以来1年余りのロータリー関係資料を積み上げて原稿作りをしたことが強烈な思い出として残っています。

その2. 1997～1998年(岩波年度)静岡第3分区代理(現、ガバナー補佐)を当クラブとしては初めて担当することになり、初代森会長がお勤めになるものと思うのは当然であり、気楽

な気持ちでございました。しかし、これもまた森初代会長の推薦と会員総会に於いて私が指名されました。分区事務局を厚見行男さんをお願いし、多くの日数をロータリーの為に割っていただき今もって感謝しています。当分区は数十年の歴史を持ったクラブが多いので大変な役を仰せつかったものと当惑しました。

当時は各クラブ毎にガバナーの公式訪問がありましたので前もって伺い協議会の打ち合わせをしたものです。就任挨拶に伺ったとき各クラブのロータリアンが新前の私を温かく迎えて下さり感動しました。また、IMのホストが現在のようにガバナー補佐を出している自クラブではなかったのです。私の年度は、富士宮西RCがホストクラブであり、厚見さんの運転で何度も訪問しては打ち合わせをしました。当時の遠藤会長、山口実行委員長を始め、すべての会員の皆様が丸となって環境問題をテーマに素晴らしいIMを開催して下さったことがつい、昨日のことのように思い出され、その時の感動が印象深く心に残っています。

ロータリーの友情は初対面であっても旧知のような安堵感と気さくな応対に気安さを与えてくれました。心配していた様々な出来事に会いましたが、まさに良き友達に恵まれ、溢れる友情のお陰でロータリーの奉仕活動が、大過なく役目を果たすことが出来ましたことに感謝しています。

その3. この岩波年度に第2米山梅吉記念館（現在利用されている建物）が建設され、その建設委員となりました。その後、当クラブの推薦で記念館運営委員会委員を拝命し、現在でも、引き続き記念館と関係しています。その間、ビチャイラタクルRI会長が本部関係者を伴って記念館を訪問され、国際ロータリーから正式にロータリーマークを記念館の玄関に表示することが認められました。

米山梅吉記念館委員会も地区諮問委員会で正式に地区委員会として認知されました。

私は、2006～2007年度も地区米山梅吉記念館副委員長として奉仕させて頂いているのも素晴らしいご縁と受け止めております。

その4. 私のロータリー人生の中で夫婦で楽しんでいることがあります。毎年行われる地区大会やその他の行事に妻を伴って参加することを習慣としてきたことです。それは理解と協力してくれる妻であったからこそ出来たことであります。現在もロータリーで活動させて頂いているのもロータリーの話題を共有している家内に報告する楽しみがあるからです。これからもロータリーの超私の奉仕と慈愛の精神を学びながら活動に参加させていただき、楽しいロータリーの様子を妻と語り合いながら余生を送っていきたくと考えています。



浜 崎 貢

沼津西ロータリークラブが、いよいよ15周年を迎えました。私が入会したのは、平成16年1月なので、西クラブと2年半を共に過ごさせていただきました。あっという間の2年半でしたが、私が一番印象を受けた活動は、クリスマス例会のチャリティーバザーです。自分たち

も児童養護施設松風荘の方達と楽しいひと時を過せ、尚且つ、バザー売上金を御寄付させていただく事によってお役にもたてるという本当に素晴らしい活動だと思いました。そして、これは当社でもすぐやろうと考え、ブケ東海は、月曜会・高原会・三島会・睦会の4業者会があり、翌月の1月が総会だったので、その総会の活動計画に年末例会時にチャリティーバザーを実施し、売上金を「愛の都市訪問」に寄付する事を決めました。今年の12月で3回目になりますが、今後も続けていくつもりです。

その他に千本浜清掃や鯉の放流などなど色々な活動がありますが、西クラブの皆様と心に残る奉仕や交流をしていけたらと思いますので、今後とも宜しく願います。



久 松 但

2002年7月に入会して以来、周年事業は初めてでした。ロータリーに入ってから、色々と感心させられることが多くありました。

例えば、全ての事柄が国際ロータリーやクラブの規約等に従ってキッチッと行われることや、会員の方々の時間に対する厳しさなどです。内輪の交流などでは、そこまでしなくても良いのではないかと思ったり、時間にルーズになったりしますが、会員全ての方々がルールを必ず守って実行するという事は、素晴らしいことだと感じました。

また、卓話で他の会員の方々の話を聞くたびに、話の内容だけでなく、話し方の上手なことに驚きました。学ぶ点も多く、「あんな風に話が出来たら良いな」と思いながらいつも聞いています。入会したての頃は、例会日を忘れたこともありましたが、最近では、ロータリーの例会が日常的なこととして、体が慣れてきたような気がします。



井 上 武 雄

沼津西ロータリークラブ、創立15周年おめでとうございます。

私は、2002.8.29に入会し、もし少しで5年になろうとしています。入会してから、よく思う事は、西クラブ会員の皆様が、本当に優しい人達の集まりだと言う事です。

入会した時は、右も左もわからず随分失礼な態度で接していたのではないかと思います。そんな私にも温かい気持ちで親切に、丁寧に教えていただいた事を、心より感謝しています。

日々においては、成果、結果主義的な毎日を過ごしていますが、毎週の例会、年間行事は今では自分自身の心の拠り所になって、楽しいクラブ活動をさせていただいていると感じていま

す。

これからも、会員の皆様と共に末長いお付き合いと、このご縁を大切にして、更なる沼津西ロータリークラブの進展にお付き合いさせていただきたいと、心より願って止みません。



栗原 侑 男

設立15周年記念おめでとうございます。早いものでロータリーに入会して12年目です。沼津西ロータリークラブ5周年、10周年、15周年記念を体験させて頂きました。

この間、色々な人達との出会いと、別れを繰り返す中で多くの事を学ばせて頂きました。入会の時、パスト会長より、ロータリーとは「人生の大学院」とか「人生の道場」と言われた事を思い出します。毎週の例会は勉強と、他業種の方々と知り合い、学びの場として授かるものがたくさんありました。例会の点鐘は1分と違わぬ正確さ、その時の緊張感、何か忘れていたものを思い出させて頂く鐘の音です。時間の大切さを学び、このように素晴らしいロータリーをもっと多くの人に知っていただき、仲間に入ってもらいたい、良き友を増やし、色々な事を学びたいと思います。7月から栄えある西ロータリークラブの会長を仰せつかりました。これから20年、30年とロータリーを楽しめるように健康に注意しながら頑張りたいと思います。家族と従業員のおかげで出席率100%以上を保っております。



宮 口 雅 仁

芹沢貞治さんのご紹介で西ロータリークラブに入会させていただきまして4年が経ちました。何も解らない私が初年度、会報、雑誌、広報委員長、2年目、出席委員長、3年目、親睦委員長、4年目（委員長お休みさせていただき）、5年目（来期）国際奉仕委員長をお受け致しました。まだ本業の仕事優先の為、たまにお休みを貰ったりロータリーについて勉強不足で委員長などお受けする身分ではないのですが、西ロータリークラブの会員が少ないので出来るだけ努力し頑張っていきたいと思っております。

4年経っての感想ですが、先輩方に可愛がって頂き本業の仕事まで仕事させていただきました。親睦委員長年度には、大変でしたが会員数名でロータリー100周年韓国旅行（メーキャップ）も体験させていただき、いい体験でいい思い出ができました。これからもまだまだ本業優先ですが、出来るだけ長い期間この西ロータリークラブに所属していきたいと思います。





## 宮 島 賢 次

2003年2月6日沼津西クラブ創設12年目の年に入会しました。只今4年生です。従って周年事業は初めてで、まだ“ロータリーのいろは”の全てを理解出来ていないところにこの事業。自社は、創業21年目ではあるがこの様に大掛かりな式典の経験はありませんでした。

式典本番前の準備から、リハーサルに掛けての先輩の皆さんの作業分担におけるそつの無い準備行動、真剣さに圧倒されました。ロータリー歴の成せる業、またロータリアンの歯車の噛み合いの素晴らしさを実感しました。当然会員の皆さんは、企業のトップとして会社においては、常にイニシアチブを取り社員を引っ張っている立場の人が多いたと思いますが、事業委員会別に委員長から一委員まで其々の立場の責任を全うし、本当のチームワークの良さを見ました。

本番の式典当日は、自ずと知れた完璧な式典でした。私も3年間の間に他クラブ開催の色々な大会・IMに参加しましたが、15周年記念事業ながらも素晴らしい出来だったと思います。来賓からも「少数クラブながらチームワークも良く、まとまりの有るクラブ」とお褒めの言葉を頂きました。本心からと私は感じます。

今回の記念事業は、私にとって本番より増してその準備段階の会員の真剣さ、行動力に感動し、ロータリアンの素晴らしさを感じた時間でした。

今後の20周年、25周年、と続く記念事業は、私たち年代が中心になっていくはずですが、実行できる立派なロータリアンに成ることを誓い、しかしながら背伸びもせずしっかりと着実に成長するため、これからも奉仕活動、親睦活動を一生懸命楽しみたいと思います。



## 本 村 文 一

「こんにちは。」挨拶からロータリーは始まります。挨拶後は誰とでも気軽に話すことができ、しかも必ず専門家がいて日常生活の問題も解決できてしまう驚きの場所。それが沼津西ロータリー。私は沼津生まれ、原小、原中、沼津東高と沼津で過ごしましたが大学以降は県外で、故郷との接触は家族と限られた友人だけでした。20年も故郷から離れていた私が開業時、仕事以外で同性と話す機会もなくふさがちだった頃、鈴木良則さんから入会のお誘いがあり、ロータリーの知識もない私でしたがすぐお受けしました。2001年大村年度に入会しまだ5年ですが親睦、出席（3回）、ソングリーダー（3回）、会報、職業奉仕委員長、幹事をつとめました。幹事の時は何もわからず、先輩にいつも助けてもらいました。自分もいつかは頼れる、頼られる先輩になりたいと思います。ロータリーで感心するのが、4つのテスト。全て集約されてい

る。私も4つのテストを忘れない限りロータリアンでいられると思い行動の規範としています。



名 古 良 輔

15周年記念式典での、後藤 昭会長のご挨拶を聴きながら、5年前の自分を思い返していました。まさに、5年の月日は瞬きほどの一瞬。その間に、クラブや自分自身に起こった様々な出来事が、次から次に眼前を流れ去っていきました。10周年記念実行委員長として、クラブ会長の私を陰に陽に支えてくださった植松秋彦さんが、その後体調を崩されて退会されたのが、その中でも最大の痛恨事。懇親会では岩崎逸三沼津北RC元会長のご挨拶に、親心の有り難さを、いまさらながら再認識しました。いつ辞めようか、と創立当初、そればかり考えていた自分が、次年度ガバナー補佐を務めることになるとは、想像もしていませんでした。今日まで私を温かく見守り、育ててくださった森 延敏さんを始め会員の皆様に感謝の気持ちで一杯です。まことに、ロータリークラブは人生の大学院に相違ありません。



上 村 税 男

我がクラブが開設15周年記念を迎えましたこと、会員の一人として大変嬉しく思うとともに、歴代の会長、幹事を務められた皆さんへ心より敬意を表します。我がクラブは、小さなクラブですが、まさに“山椒は小粒でもぴりりと辛い”の喩えがぴったりくるような大変活気とまとまりのある素晴らしいクラブです。このような素敵な沼津西ロータリークラブに4年間、席を置かせて頂き、しかも15周年記念式典という節目のイベントにも参加できたことを誇りに思います。同時に、都合により私自身は今期をもって退会させていただきますが、短いながらロータリアンとして過ごし、経験させて頂いた様々なことを今後の良き思い出とさせていただきます。末筆ながら、沼津西ロータリークラブの益々のご発展を祈念するとともに皆様から頂戴した多くのご厚誼に対し心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 大久保 豊 和

私の入会は約2年前。入会前、ロータリーはどういうクラブか、先人にいろいろ聞きました。結局、エヌ・イーケムキャットは、千葉忠男氏から始まって歴代の沼津事業所長がロータリーに入会していたということが最大の理由で、私も入会させていただきました。二代前所長の岡公一氏は特に強く勧めてくれましたし、共感したのは、数代前の所長で当時社長であった建部信也氏のロータリーの目的についての説明でした。職業活動を通じた社会的貢献という説明は、昨今の企業の「社会的責任」（コンプライアンスだけでなく積極貢献を含む）という流れとも合致して納得できるものでした。

2年経ち、最近（4月16日）、甲府での地区協議会に参加させていただきましたが、2006～2007年度ガバナー・テーマは「職業奉仕と親睦」ということでした。私の入会動機と共鳴して参加しがいのあるロータリーになるかと期待を持っています。

職業奉仕がクラブ員の親睦で醸成されていけばクラブは益々楽しくなるのではないのでしょうか。職業奉仕の知恵袋である例会は当然ですが、テーブル会、ゴルフ大会も大切にしていきたいと思っています。



## 坂 部 利 夫

2000年4月に沼津西クラブに入会してから、6年2か月が経過しました。

入会時期に沼津弁護士会の幹事長の会務と重なり、大変厳しい時間練りで、例会への出席自体が不安でしたが、スポンサーの植松さんからメーキャップに付き添って頂き、こういう方法もあるのかと、勉強しながら何とかスタートできました。例会でのロータリーソング斉唱にとまどったり、他クラブのメーキャップに出たときは、雰囲気の違いにとまどったりもしましたし、地区大会、協議会の規模の大きさにびっくりしたりと、驚きの連続でしたが、時間が経過するにつれ、皆さんと心が通うようになり、元気や励ましを貰う集まりであることを実感できるようになってきました。私は、この会のおかげで、本業とそれ以外の分野における「奉仕」の精神を、少しずつ学んできたように思います。

また、いろいろなネットワークが広がり、社会生活の上で大変助かっております。これからも、健康に気をつけながら、皆様とお付き合いをお願いしたいと思っています。



## 佐 野 稔

当クラブ15周年の記念式典が去る5月28日ブケ東海沼津で開催されましたが、初参加の感想を述べさせていただきます。

まずは実行委員長の杉山さん、司会の土佐さんをはじめとした関係者の皆さん本当にご苦労さまでした。滞りなく終了し、安堵されて居られる事と察いたします。15周年を無事に迎えることができましたことに、創立時のスポンサークラブである沼津北クラブと歴代の会長、幹事ならびに会員の皆様のご努力に心より感謝いたします。

創立時会員26名、現在会員27名、と会員数に大きな変化はありませんが、OBが沢山参加されており、メンバーの新陳代謝の激しさに苦労の一端が伺えました。又組織規模は当クラブ程度が適当ではないかとも感じました。周年行事を実施するにも、当クラブ規模では全員参加でないと上手くいきません。小人数だと役割分担が相対的に重くなりますが、反って会員間の結束が強化されるのではないのでしょうか。当クラブが沼津北クラブから独立したのはそういう点からも良かったと思います。会員増強がロータリーの終局目標ではありますが、まずは会員脱退を食い止めるような組織的魅力を高め、次に会員増加を図り、組織が肥大化したら分家していくのがベターではないかと記念行事を通じて考えさせられました。



## 芹 澤 和 子

15周年記念例会に西ロータリークラブの一員として、参加できた事に大変感謝いたします。2005年11月24日に西ロータリークラブメンバーとさせていたき数ヶ月過ぎ毎月の例会に於いて細部はわからないとしても、クラブ全体のテーマ超我の奉仕の心を一丸となり実行している事を実感しております。私が生まれた時代は今の、日本と比べられない位物資、金銭等に恵まれずすごしましたが、人の温かさ、命の尊さ等の心の形成を築きました。忘れ物をして授業に向かう生徒を心より怒り、なぐりました。1つの物を大切に大勢の兄弟で使い、物の尊さを覚えました。その時代の経験を持った人、新しい感性をもつ人等バランスの良い、クラブにおります。私自身才能、財力も無くクラブの一員として、お役に立てるか心配になりますが、諸先輩の明るく温かい人柄にふれ、私なりの知恵を使いメンバーとして教わりながら奉仕の心を持ち、前に進み幸せを分かち合いたいと思います。



## 杉 山 壽 章

沼津西ロータリークラブ創立15周年おめでとうございます。杉山実行委員長をはじめ、各実行委員長と会員の努力や奥様方の御協力に感心させられました。やはり式典には御婦人の協力なくして成功は無いと確信しました。ロータリークラブの活動を益々充実させていく為にも、こうした会員関係者の一体感の育成が大切な事だと教えられました。あらためて歴史の重さを感じた一日でした。また、記念講演（倉嶋厚様）の「富士の白雲—その来し方と行く末」よりも私は講演をする前のコップ一杯の水によって気持ちに余裕を持たせる事は大変重要な事だと感じました。したがって私、今後、気持ちに余裕を持たせる話し方を実践していきたいと思いました。

私は今年の3月に入会させていただきまして何もかもが不案内、不慣れでしてただ戸惑うばかりで、このたびの式典にもお役に立てず、参加させていただいただけで恐縮しています。これからは諸先輩の御指導のもとに会員間の親睦を深め、クラブ奉仕や諸活動を通じて微力ながら沼津西ロータリークラブの発展に心がけ、結果自己啓発につながれば幸いに存じます。

末筆になりましたが、このたびの式典では楽しく、また有意義な時を過ごさせて頂きましてありがとうございました。



## 鈴 木 泰 次

私が、鈴木良則さんをスポンサーに当クラブに入会させて頂いたのが2000年2月でした。正直なところ、当時ロータリークラブに入会するなど考えてもみませんでした。

入会前にゲストとして始めて例会に参加しましたが、正直に感じた印象としては私が入会出来るようなクラブではないような思いが致しました。

会員の皆さんは、皆立派な方々のように思われましたし、例会の様子も私が想像していたものとは大分違っておりました。私のようなものが所属できるクラブではないと思いつつ入会いたしました。

しかし、鈴木良則さん始め、周りの皆さんの温かい思いやりを受け、気持ちが徐々に馴染み楽になっていきました。

入会次年度（名古屋会長年度）は、沼津西クラブ創立10周年の年でした。私もまだまだ不勉強のうえクラブのことが分からずに過ぎていきましたが、10周年の記念式典の司会を仰せつかりました。



私に出来るものとはとても思えませんでしたのでお断りをしましたが、ロータリアンなら断らずに受けなさいとのことで、司会を担当することになりました。

なれないこととはいえ、大変緊張しましたが何とか無事に終わって安堵したことを覚えております。

今回の15周年記念行事に於いては、たまたま当年度幹事という役回りになりましたが、記念実行委員会の杉山了実行委員長をはじめ皆様方のお力添えにより、つつがなく式典、講演会、懇親会と順調に終わったことは幹事として、たいしたことも出来ずにいました私には感謝に堪えません。

これからも皆様方のご厚情により当クラブ会員として少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。



土 佐 通 孝

15周年の節目に、在籍させていただいている事に感謝申し上げます。

これ迄に、当クラブを隆盛に導かれた諸先輩方の情熱に敬意を表します。ロータリー精神の理解を未だ成し得ない自分ですが、会員諸兄の職業をベースにした奉仕と、親睦の実践活動は、教えられるところが多々有り、他クラブ会員との交流も何かと刺激になります。会員としての誇りを忘れず、微力ながら、地道にコツコツクラブの発展に貢献できればと思っております。ご指導ご鞭撻を願います。



植 松 正

私が、当クラブに入会させて頂いたのは2005年3月ですので、まだ1年強しか経っておりません。入会のきっかけは、それまで東京で銀行員をしていて、父の病気から急遽事業を継承することになった自分に対し、スポンサーである栗原侑男さんからお声がけをしていただきました。

正直なところ、当初は年齢（30代半ば）や事業面等の影響を考え躊躇しておりましたが、入会を決意させたのは最終的には父親の存在でした。父は病気で倒れるまでの約13年間当クラブの会員で、98年～99年度には会長を務めさせていただきました。そしてロータリアンであることに誇りをもっておりました。

入会してから、父がお世話になった皆様や地域社会に少しでも貢献できるならば、との気持ちで頑張っております。若輩ものではあります、今後ともよろしくお願ひします。



## 渡 辺 亀 一

### 【記念事業】

10周年記念事業として行った1つに、ミャンマーの小学校にトイレの建設があります、その確認も含めたミャンマーの旅をした。パスト会長、大村保二さん、OBの木村さん、そしてこの事業の橋渡しをしてくれたNGOの女性2人とともに、建設をした小学校2校を訪ねた、ミャンマー国、保健省の役人も出席された贈呈式の形式をとっていただき、大村パスト会長は、「皆様のお役に立てて大変うれしく思います、また皆様にお会いできた事を光栄に思います」と立派なご挨拶をされました。

早速案内されて拝見した水洗トイレは、私たちが想像していたトイレとは大分違っていました、校舎外の空き地部分に建てられて扉を開けてのぞいてみると、日本でいう和式の便器の横にたてよこが60cmの30cm、深さが30cmの水槽が作ってありました、その水槽から柄杓で水を汲み流していたのです。訪ねた2校とも児童数500人程度の小学校でした。校舎は平屋で外壁は板張り、屋根はセメント板のようでした、窓は板戸で外に突き出し、棒で支える形でした、床は土間で子供たちは、ぞうり履きでした。授業も拝見してきましたが、子供たちの真剣なまなざしが、印象に残っています。この国は、ご承知のとおり社会主義国で、ロータリークラブはありません。NGOの皆様のお話ですと、雨期なると低学年の児童がトイレに落ちて亡くなる事があるようです、へき地では今でも、空き地に穴を掘っただけのトイレがほとんどとか、このような子供たちを救うために活動をしています、是非今後ともご理解ご協力をと求められますと、ひとつとと思えない様な気がします。

# 会 員 名 簿

2006年5月28日現在

氏 名	入会年月日 生 年 月 日	職 業 分 類 事 業 所 ・ 役 職	事 業 所 住 所 自 宅 住 所	事 業 所 TEL 自 宅 TEL	事 業 所 FAX 自 宅 FAX
ごとう 後藤 昭	1996.9.5 入会 1945.3.28 生	精密機器 (株)静岡精機 代表取締役	沼津市西沢田109-5 沼津市西沢田837-1	921-0027 924-3088	921-0026
はまざき 浜崎 貢	2001.1.8 入会 1959.10.23 生	総合結婚式場 (株)ブケ東海 代表取締役	沼津市寿町7-37 榛原郡吉田町4261-5	922-5522 0548-32-9763	922-5525
ひさまつ 久松 但	2002.7.6 入会 1960.4.23 生	公認会計士 久松但公認会計士・税理士事務所 所長	沼津市下河原町24-8 沼津市旭町28-3	961-2050 954-1551	961-2600 954-1551
いのうえ 井上 武雄	2002.8.29 入会 1958.12.26 生	アウトソーシング (株)イノウエテクノ 代表取締役	沼津市中原町3-20 沼津市中原町3-18	935-0550 934-0403	931-1128
くりはら 栗原 佑男	1994.12.15 入会 1945.5.3 生	自動車修理販売業 (株)栗原自動車 代表取締役	沼津市原311-1 沼津市原311-3	966-1422 966-1423	967-5570 967-5596
みやぐち 宮口 雅仁	2002.7.6 入会 1961.2.1 生	不動産仲介 (有)中央不動産 代表取締役	沼津市五月町9-2 沼津市五月町10-5	921-1181 926-2185	922-3932
みやじま 宮島 賢次	2003.2.6 入会 1957.10.3 生	総合建設業 (株)大義工務店 取締役副社長	沼津市下香貫塚田2263 沼津市大岡2447-3	934-0708 926-6089	932-4121
もり 森 延敏	1983.3.1 入会 1924.12.21 生	紙加工製造業 森化工紙(株) 代表取締役	沼津市原647-1 沼津市原647	966-1296 966-1939	967-1296
もり 森 茂美	1996.2.29 入会 1935.12.9 生	製紐業 森工業(株) 代表取締役	沼津市石川283 沼津市石川283	966-2145 966-2145	966-3627
もとむら 本村 文一	2001.10.4 入会 1961.10.30 生	泌尿器科医 本村クリニック 院長	沼津市大塚870 沼津市大塚870	969-0001 969-0026	969-0002
なご 名古屋 良輔	1991.6.25 入会 1953.8.21 生	眼科医 あいあい眼科クリニック 院長	沼津市原1721-17 沼津市原1721-17	967-7715 967-7718	967-7716
おおく 大久保 豊和	2004.9.30 入会 1946.10.9 生	化学品製造業 エヌ・イーケムキャット(株)執行役員沼津事業所長	沼津市一本松678 沼津市高沢町1-27-1102	966-1080 922-6779	967-2544
おおむら 大村 保二	1995.12.7 入会 1944.5.30 生	プラスチック加工 大村興業(株) 代表取締役	沼津市原町中1-1-5 沼津市平沼706	968-8080 966-2358	968-8081
さかべ 坂部 利夫	2000.4.6 入会 1950.9.13 生	弁護士 坂部法律事務所 所長	沼津市吉田町23-7 沼津市下香貫大久保2315-19	931-5318 933-2233	931-5326
さの 佐野 稔	2004.7.29 入会 1942.2.19 生	特殊紙製造業 東洋ファイバー(株) 代表取締役	沼津市大塚888 沼津市大塚777-306	966-1537 968-5235	967-2210

氏名	入会年月日 生年月日	職業分類 事業所・役職	事業所住所 自宅住所	事業所TEL 自宅TEL	事業所FAX 自宅FAX
せりざわ 芹澤 かずこ 和子	2005.11.24入会 1941.3.4生	損害保険業 M&Kオフィス 自営主	沼津市岡一色207-14 沼津市岡一色207-14	923-6680 923-6680	923-6850
せりざわ 芹澤 ていじ 貞治	1991.11.28入会 1951.1.1生	サッシ・ガラス販売 備芹沢ガラスセンター 代表取締役社長	沼津市今沢450 沼津市原東添1015-2	967-3316 967-4160	967-3263
すぎやま 杉山 さとる 了	1991.6.25入会 1939.10.1生	LPGガス販売 日本ガス興業(株) 相談役	沼津市原430 三島市富士ビレッジ43-23	966-1101 986-1362	966-6409
すぎやま 杉山 としあき 壽章	2006.3.2入会 1949.10.17生	鉄工業 (株)杉山鉄工 代表取締役	沼津市原1059-1 沼津市原867	966-1188 966-8938	966-1189
すずき 鈴木 ひろゆき 博行	1984.5.1入会 1936.7.16生	螺子製造 (株)鈴木螺子製作所 代表取締役	沼津市一本松475 沼津市一本松461	966-0092 966-0092	967-1257
すずき 鈴木 たいじ 泰次	2000.2.24入会 1948.11.17生	不動産取引 (株)ライフアップ 代表取締役	沼津市原1730-4 沼津市原1730-4	966-8585 966-8585	966-8660
すずき 鈴木 よしのり 良則	1991.6.25入会 1932.6.20生	倉庫業 (株)城南倉庫 代表取締役	沼津市根古屋404-2 沼津市青野16-4	966-1941 967-5208	966-1932
とさ 土佐 みちたか 通孝	2003.7.5入会 1944.5.27生	自動車販売業 ダイハツ沼津販売(株) 代表取締役	沼津市下香貫上障子373 沼津市若葉町21-2	931-0230 926-7450	934-0836
うえまつ 植松 ただし 正	2005.3.3入会 1969.1.20生	不動産賃貸業 (株)沼津松長自動車学校 代表取締役	沼津市松長460 沼津市西椎路398-2-401	966-4861 967-7680	966-8565
うえむら 上村 ちかお 税男	2002.5.9入会 1941.1.2生	教育(大学) 東海大学開発工学部 学部長	沼津市西野317 富士市中丸157-9	968-1111 0545-64-9811	968-1150
わたなべ 渡辺 きいち 亀一	1995.7.6入会 1942.5.1生	建設業 (株)渡辺建設工業 代表取締役	沼津市井出810-3 沼津市西椎路139-1	967-0696 967-6338	967-0207
やまもと 山本 じょうじ 浄司	1992.4.2入会 1945.10.25生	紙工 (株)山本紙工 代表取締役	沼津市西沢田264 沼津市西椎路541-3	923-0429 966-3333	924-4722

## 編集後記

昨年5月28日に後藤昭会長、杉山了実行委員長のもと、無事に記念式典を終えました。編集長である私の怠慢で、編集が伸び伸びになってしまいました。2007年2月4日に開催されたIMの準備に忙殺された事も一つの原因でした。IMを無事に終え、最後に残された編集後記によりやく着手した次第です。

1991年5月30日に沼津北RCをホストクラブとして創立された我がクラブも、会員各位の努力とホストクラブの皆様の御指導により、無事15周年を迎えたことに大きな感慨を覚えます。思い返しますと5年前、10周年時の会長を務め、それまでの10年分の週報をCD-ROM化しました。今ではクラブの貴重な財産となっています。

IMの準備に忙しいだろうからと、ガバナー補佐を務めた私を慮ってくださり、上村税男、宮島賢次、久松但、植松正の各編集委員がほとんどの編集作業をしてくれました。特に植松正委員には多大の負担をかけてしました。この場を借りてお詫びいたします。

原稿をお読みいただくと、それぞれの会員のクラブに対する思いが良く分かります。積み重なった歳月が、沼津西RCをさらに個性豊かで魅力的なクラブに磨き上げつつあるようです。IMで示された団結力こそが、沼津西RCの何よりの宝物。お一人お一人の会員が健康に留意され、これからもロータリーライフを共に楽しもうではありませんか。

平成19年2月吉日

沼津西ロータリークラブ  
15周年記念誌編集委員長

名古屋 輔

### 沼津西ロータリークラブ15周年記念誌

編集 沼津西ロータリークラブ  
15周年記念誌編集委員会

発行 平成19年3月31日

印刷 みどり美術印刷株式会社



